

元気寿司株式会社

商号 元気寿司株式会社
本社 栃木県宇都宮市大通り2-1-5
TEL. 028-632-5711 (代) FAX. 028-632-5911
証券コード 9828 (東証一部)
URL <http://www.genkisushi.co.jp/>
創業 1968年12月12日
会社設立 1979年7月26日
資本金 951,529,724円
従業員数 社員529名
パートナ-社員2,531名 (1日8時間換算)
事業内容 回転寿司チェーンの経営

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
配当金受領日 剰余金の配当 毎年3月31日
株主確定日 中間配当 毎年9月30日
定時株主総会の議決権基準日 毎年3月31日 (その他必要がある場合はあらかじめ公告いたします。)
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部
同送付先 〒137-8081東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部
電話 0120-232-711 (通話料無料)
同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社全国各支店
○株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っております。
電話(通話料無料) 0120-244-479(本店証券代行部)
0120-684-479(大阪証券代行部)
インターネットホームページ
<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>
なお、株券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。
公告の方法 電子公告といたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
電子公告アドレス <http://www.genkisushi.co.jp/>



地球環境に配慮した大豆油
インキを使用しています

株主通信

(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)



元気寿司

元気寿司株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに第28期中間期の営業の概況をご報告申し上げます。

当社グループは「回転寿司を通して社会に貢献し、日本全国から世界へと寿司文化の普及拡大をめざす」ことを基本理念に積極的な事業を展開してまいりました。

近年、回転寿司業界はマーケットの活性化を背景に大型店の出店が相次ぐなど競争が激しくなっております。しかし、どんなに競争が激しくなろうとも、「お客様第一主義」の姿勢を貫き、寿司本来の技術をしっかり伝承したクオリティの高い商品づくり（Q）、「元気な対応」「明るい笑顔」による温もりの接客サービス（S）、そして安心・安全を約束するクレンリネス（C）という外食産業の3つの基本をさらに徹底してまいります。

そして、世界中のできるだけ多くのお客様に、おいしい寿司を心から楽しんでいただけるよう改革・挑戦を続けてまいります。

これからも、寿司一筋の企業として歩み続ける私たちにご期待下さい。

平成18年12月



代表取締役会長兼社長
廣田 鶴男

営業の概況（連結）

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善や設備投資の増加等を背景に、景気は着実に回復しております。一方、米国の景気は拡大を続けております。

外食産業におきましては、個人消費の緩やかな増加により売上高、来客数とも回復傾向にあるものの、企業間の競争がいつそう激しくなり、厳しい状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、「お客様満足向上のための、改革・挑戦」をテーマに、回転寿司事業再構築に取り組んでまいりました。

店舗展開につきましては、人材の育成と店舗運営システムの再構築に取り組み、大型店の出店を抑制し、小規模商圈中心の中型店の出店を厳選して行ってまいりました。不採算店舗の立て直しの施策といたしまして、不良店対策部を新設し、競合店、オペレーション、立地等を総合的に観察・分析しながら、商品やオペレーションの見直し等の改善改革案を立案・実行し、同時に、賃借料の減額交渉に取り組んでまいりました。

当中間連結会計期間においては、これら店舗展開方針に基づき新設店2店舗を出店し、一方で、不採算店等2店舗を退店いたしました。また、業態転換については1店舗を実施いたしました。これにより総店舗数は201店舗となりました。

商品面につきましては、お客様の満足度の高いメニュー構成を念頭において、高鮮度のこだわり食材や産地・グレード等の本物志向を追求した食材の投入、フェア食材や季節のおすすめ食材の充実など他社との差別化を図ってまいりました。また、テイクアウトメニューに関しても充実を図り、選ぶ楽しさを提供してまいりました。

営業面につきましては、集客力の向上とブランドイメージの向上を図るため、商品政策と歩調を合わせた折り込みチラシのほか、不振店対策のための各種販売促進等を行ってまいりました。また、店舗オペレーションに関しましては、回転寿司の原点に帰り、レーン上に回転しているお寿

司の流し不足を撲滅するなど、運営システム・運営体制の改善を図ってまいりました。

サービス面につきましては、接客サービスに関するクレームを撲滅し、レベルの向上を図る観点から接客向上委員会を設置し、全社員運動として、「スッキリ・ハッキリキャンペーン」を実施してまいりました。

海外子会社展開につきましては、親会社からの支援等により運営基盤の強化と安定化を図るとともに積極出店に向けて物件の選定を行ってまいりました。

海外フランチャイズ展開につきましては、フランチャイズ先との良好な関係維持を図るため、支援体制を強化し、派遣指導等を充実するとともに新規出店を促しております。また、新たな地域については、新規パートナーの勧誘を積極的に行ってまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高141億3千9百万円（前年同期比1.9%増）、経常利益6億2千2百万円（前年同期比161.4%増）、中間純利益3億7千万円（前連結会計期間は中間純損失20億5千9百万円）となりました。

通期の見通しといたしましては、企業部門の好調さが家計部門へ波及しており、国内民間需要に支えられた景気回復が続くと見込まれますが、一方で、原油価格の動向により内外経済に与える影響など懸念される事項もあります。

外食産業におきましては、マーケットが飽和、成熟段階に入っており、お客様のニーズの変化、多様化に応えるため、画一的・均一的な運営から脱却し、独自性や他社との差別化を図ろうという動きが活発になってまいりました。

当社グループといたしましては、「お客様満足向上のための、改革・挑戦」をテーマに、人材の育成と店舗運営システムの構築に取り組んでまいります。

以上により、通期の業績見通しといたしましては、売上高280億円（前年比2.6%増）、経常利益11億5千万円（前年比27.3%増）、当期純利益6億2千万円を見込んでおります。

連結財務諸表 (要旨)

● 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	期別	当中間期 (平成18年9月30日現在)	前中間期 (平成17年9月30日現在)	科目	期別	当中間期 (平成18年9月30日現在)	前中間期 (平成17年9月30日現在)
資産の部				負債の部			
流動資産		5,130,903	4,011,241	流動負債		4,321,792	3,804,040
固定資産		7,979,668	8,918,437	固定負債		4,525,582	5,147,108
有形固定資産		3,694,533	4,519,679	負債合計		8,847,375	8,951,149
無形固定資産		140,220	132,940	少数株主持分		—	△ 156,236
投資その他の資産		4,144,914	4,265,818	資本の部			
				資本金		—	876,530
				資本剰余金		—	1,069,670
				利益剰余金		—	2,285,793
				その他有価証券評価差額金		—	14,081
				為替換算調整勘定		—	△ 46,209
				自己株式		—	△ 65,098
				資本合計		—	4,134,766
				負債、少数株主持分及び資本合計		—	12,929,679
純資産の部				株主資本			
				株主資本		4,436,465	—
				資本金		951,529	—
				資本剰余金		1,144,670	—
				利益剰余金		2,406,957	—
				自己株式		△ 66,691	—
				評価・換算差額等		△ 25,399	—
				その他有価証券評価差額金		6,621	—
				為替換算調整勘定		△ 32,021	—
				少数株主持分		△ 147,869	—
				純資産合計		4,263,196	—
資産合計		13,110,572	12,929,679	負債・純資産合計		13,110,572	—

● 中間連結損益計算書

(単位：千円)

科目	期別	当中間期 (平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで)	前中間期 (平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで)
売上高		14,139,158	13,875,410
売上原価		5,963,940	5,711,478
売上総利益		8,175,218	8,163,932
営業収入		44,639	41,985
営業総利益		8,219,857	8,205,918
販売費及び一般管理費		7,772,385	8,129,093
営業利益		447,472	76,824
営業外収益		195,152	181,403
営業外費用		19,874	19,999
経常利益		622,750	238,229
特別利益		46,694	43,832
特別損失		280	2,335,242
税金等調整前中間純利益または 税金等調整前中間純損失(△)		669,164	△2,053,180
法人税、住民税及び事業税		301,211	35,793
法人税等調整額		△ 13,756	7,890
少数株主利益または少数株主損失(△)		11,554	△ 37,032
中間純利益または中間純損失(△)		370,154	△2,059,831

● 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	期別	当中間期 (平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで)	前中間期 (平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		794,997	239,664
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 69,658	△ 559,529
財務活動によるキャッシュ・フロー		184,677	108,489
現金及び現金同等物に係る換算差額		1,921	7,984
現金及び現金同等物の増減額(減少：△)		911,937	△ 203,391
現金及び現金同等物期首残高		2,595,741	2,509,299
現金及び現金同等物中間期末残高		3,507,679	2,305,908

● 中間連結株主資本等変動計算書

当中間期 (平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)

(単位：千円)

	株主資本				評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成18年3月31日残高	951,529	1,144,670	2,087,936	△ 66,453	4,117,682	9,362	△ 34,200	△ 24,837	△159,423	3,933,420
中間連結会計期間中の変動額										
剰余金の配当(注)			△ 51,134		△51,134					△ 51,134
中間純利益			370,154		370,154					370,154
自己株式の取得				△ 237	△ 237					△ 237
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)						△ 2,741	2,178	△ 562	11,554	10,992
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	319,020	△ 237	318,783	△ 2,741	2,178	△ 562	11,554	329,775
平成18年9月30日残高	951,529	1,144,670	2,406,957	△ 66,691	4,436,465	6,621	△ 32,021	△ 25,399	△147,869	4,263,196

(注) 平成18年6月22日の定時株主総会における利益処分項目であります。

財務諸表 (要旨)

● 中間貸借対照表

(単位：千円)

科目	期別	当中間期 (平成18年9月30日現在)
資産の部		
流動資産		4,846,972
固定資産		7,780,439
有形固定資産		3,295,250
無形固定資産		139,475
投資その他の資産		4,345,714
資産合計		12,627,411
負債の部		
流動負債		4,130,249
固定負債		4,285,421
負債合計		8,415,670
純資産の部		
株主資本		4,205,119
資本金		951,529
資本剰余金		1,144,670
利益剰余金		2,175,611
自己株式		△ 66,691
評価・換算差額等		6,621
その他有価証券評価差額金		6,621
純資産合計		4,211,741
負債・純資産合計		12,627,411

● 中間損益計算書

(単位：千円)

科目	期別	当中間期 (平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)
売上高		12,944,689
売上原価		5,556,721
売上総利益		7,387,967
営業収入		43,525
営業総利益		7,431,493
販売費及び一般管理費		7,070,801
営業利益		360,691
営業外収益		214,277
営業外費用		17,767
経常利益		557,200
特別利益		50,971
特別損失		11
税引前中間純利益		608,160
法人税、住民税及び事業税		291,959
法人税等調整額		△ 20,141
中間純利益		336,341

● 中間株主資本等変動計算書

当中間期 (平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)

(単位：千円)

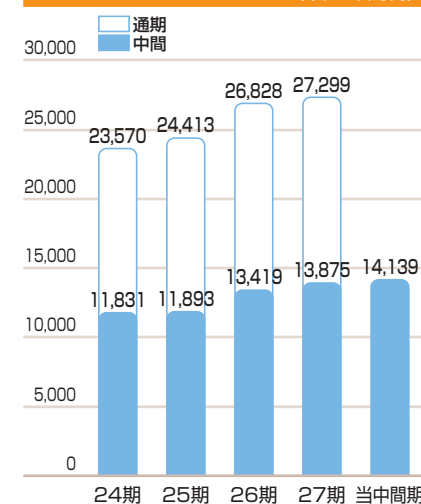
	株主資本					評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
平成18年3月31日残高	951,529	1,144,670	1,890,403	△ 66,453	3,920,149	9,362	3,929,512
中間会計期間中の変動額							
剰余金の配当 (注)			△ 51,134		△ 51,134		△ 51,134
中間純利益			336,341		336,341		336,341
自己株式の取得				△ 237	△ 237		△ 237
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額 (純額)						△ 2,741	△ 2,741
中間会計期間中の変動額合計	—	—	285,207	△ 237	284,969	△ 2,741	282,228
平成18年9月30日残高	951,529	1,144,670	2,175,611	△ 66,691	4,205,119	6,621	4,211,741

(注) 平成18年6月22日の定時株主総会における利益処分項目であります。

財務ハイライト (連結)

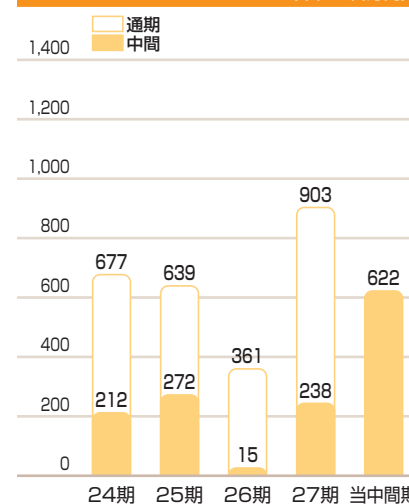
売上高

(単位：百万円)



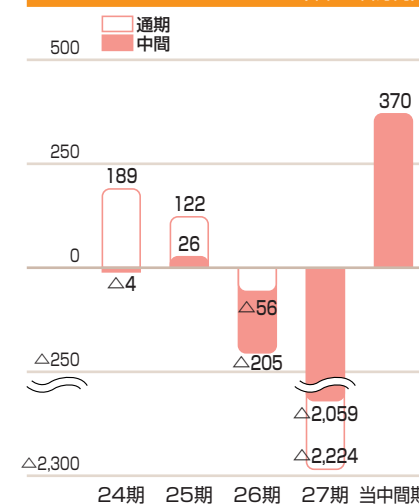
経常利益

(単位：百万円)



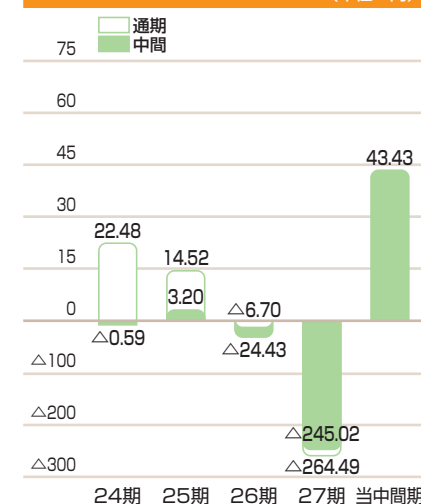
中間(当期)純損益

(単位：百万円)



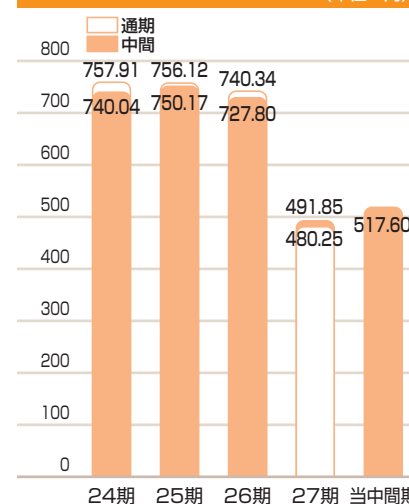
一株あたり中間(当期)純損益

(単位：円)



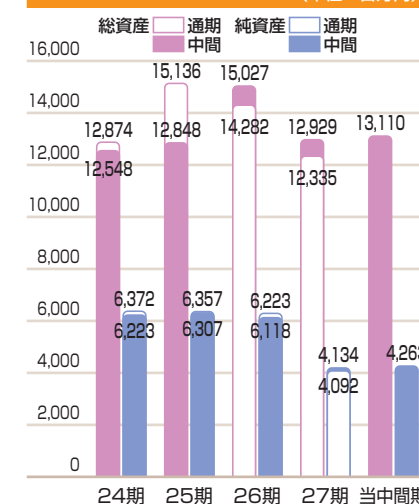
一株あたり純資産

(単位：円)



総資産・純資産

(単位：百万円)



ブランド紹介

異なるコンセプトを持った4ブランドへの挑戦で、あらゆるお客様のニーズに応えます

すしおんど

安心価格



100席以上の客席を持つ大商圏郊外型の大型店舗。主に次世代の担い手として期待されるニューファミリーを中心に、寿司全皿100円（税込105円）均一の低価格を実現しています。

元気寿司

おいしさと値頃感



商圏人口4万人からの出店が可能な小商圏郊外型の店舗。本物の寿司を気軽に楽しめる回転寿司として、ファミリー層を中心に幅広い年齢層のお客様に高い支持をいただいています。

千両

本物志向



何より本物を求めるお客様層を中心にした高級回転寿司。市場直送のネタを店内でさばくなど、鮮度と本物にこだわった寿司を提供しています。

東京元気寿司

新感覚寿司



女性を中心にしたトレンドリーダー層を中心に新感覚の店づくりを追求した都市型店舗。寿司をメインとした創作日本料理と、それに合うおいしいお酒を用意しています。

※当社子会社の杵屋元気寿司東海(株)が愛知県・三重県において運営している「元気寿司」は、当社「すしおんど」ブランドと同一コンセプトとなっております。

株主優待

元気寿司は、日々あたたかいご声援を賜る株主の皆様へ感謝の気持ちを込めて、単元株（100株）以上ご所有の株主様に次の基準により年2回（6月・12月）株主優待食事券を発行しております。

1,000株以上 500円券30枚（年間30,000円相当）
 500株以上1,000株未満 500円券15枚（年間15,000円相当）
 100株以上500株未満 500円券3枚（年間3,000円相当）

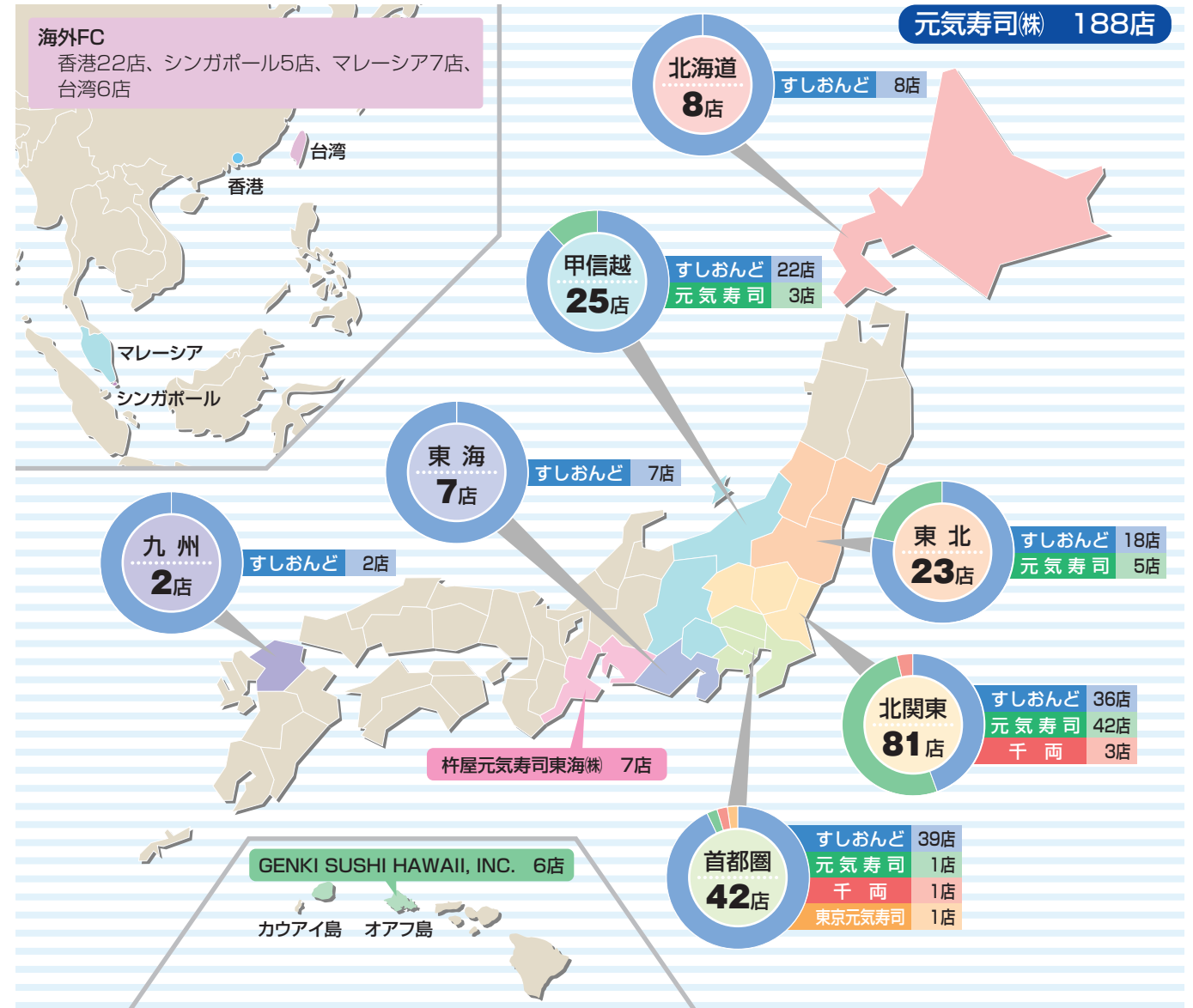


当社と業務・資本提携している(株)グルメ杵屋または当社子会社の杵屋元気寿司東海(株)をご利用いただけます。

ネットワーク

(平成18年9月30日現在)

真のトップブランドをめざし、寿司のおいしさを世界に届けます



トピックス

すしおんど



千両



元気寿司



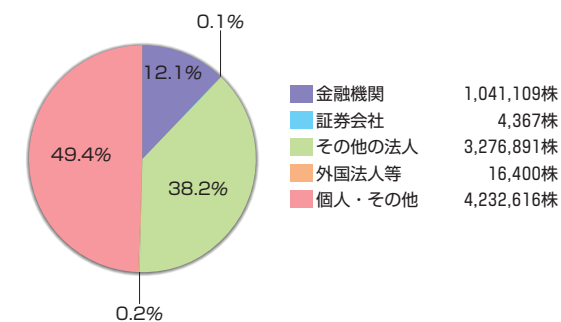
※一部地域により取り扱いがない商品がございますのでご了承ください。

株式の状況 (平成18年9月30日現在)

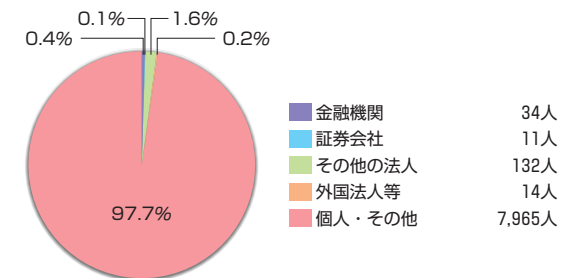
- ◆発行可能株式総数 33,000,000株
- ◆発行済株式の総数 8,571,383株
- ◆株主数 8,156名
- ◆大株主

株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
(株) グルメ杵屋	2,898	33.8
元気寿司取引先持株会	408	4.8
(株) 足利銀行	402	4.7
(株) みずほ銀行	107	1.3
東京海上日動火災保険(株)	88	1.0
元気寿司従業員持株会	71	0.8
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	69	0.8
三菱UFJ信託銀行(株)	54	0.6
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	53	0.6
三菱UFJ信託銀行(株)(信託口)	50	0.6

◆所有者別株式分布状況



◆所有者別株主分布状況



役員の状況 (平成18年9月30日)

取締役相談役	棕 本 彦 之	取締役	中 村 勉	常勤監査役	高 木 豊 久
代表取締役会長兼社長	廣 田 鶴 男	取締役	北 村 秀 士	監査役	寺 西 尚 人
専務取締役	三 澤 哲 夫	取締役	大 金 久 子	監査役	中 森 哲 臣
常務取締役	向 井 勇 次 郎	取締役	産 形 剛	監査役	稲 本 和 彦
		取締役	日 村 千 尋		
		取締役	藤 原 修 司		
		取締役	棕 本 充 士		